

わたしのキャリアの棚卸 ～自分らしい人生のあり方～

市では、男女共同参画計画「まいプラン(第3次)」の中で「男女が共に参画し活躍できる環境づくり」を掲げ、事業所や関係団体等と女性の活躍やワークライフバランスなどの取り組み、市民の意識啓発などの取り組みを推進しています。

性差に関係なく、誰もが平等に活躍でき、働き続けることができる社会を目指す中で、今回は、男女共同参画審議会の委員でもある佐古田電機社長の下で、温かく時に厳しく後輩の育成に取り組んでいる上田さんをご紹介します。



株式会社 佐古田電機
移動通信部統括部長
上田 かおりさん

働きたい人が働き続けられる職場を「つくる」

◆働く基本の確立

生まれも育ちも京都市。短大卒業後、眼科やアパレル業界、着付けやブライダル関係の仕事、健康関連商品メーカー、ショップ店長などさまざまな職種を経験してきた。資格取得を目指したり、技術を身に付けたり、新しいことに挑戦することで自分のものにし、仕事に生かすことに喜びを感じていた。「どの分野でもコミュニケーションを大切にしたい」と振返る。

◆初めてのマネジメント 日常の関わりの大切さ

結婚を機に、京丹後市へ移住。家の周りには何も無い、友人もいない、退屈に感じていたが、「夫に依存するのは自分自身すっきりしない。自分の生きがいを見つけない」と仕事を探し始め、出会ったのが佐古田電機。仕事には膨大な知識が必要とされ、1〜2年は寝る間も惜しんで勉強。習得した知識を基に、「どうしたらお客さまに喜んでもらえるかを考え、コミュニケーションを大切に接してきた。その後店長になり7〜8人のスタッフのマネジメント業

男女共同参画情報

かがやき

[第78号]

11月12日〜25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間

11月12日〜25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間であり、府の「配偶者等からの暴力をなくす啓発期間」です。配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことを「DV(ドメスティックバイオレンス)」といいます。

身体的暴力	殴る、蹴る、物を投げるなど
精神的暴力	怒鳴る、ばかにする、無視するなど
経済的暴力	生活費を渡さない、自由にお金を使わせないなど
社会的暴力	付き合いや外出を制限する、スマホをチェックするなど
子どもを利用した暴力	子どもの前で暴力を振るう、子どもの前で非難するなど
性的暴力	望まない性行為を強要する、避妊しないなど

力だけでなく、精神的、経済的、社会的、また、子どもを利用した暴力なども含まれ、さまざまな暴力が複合的に振るわれていることもあります。

「私にも悪いところがある」とDVを家庭内の問題としてあきらめるのではなく「おかしいのでは?」と感じたら一人で悩まず、相談してください。

また、11月は「児童虐待防止月間(10)」に関連記事でもあります。子どもへの虐待、DVは、心身に重大な影響を与える行為であり、著しく人権を侵害する行為です。子どもへの虐待からDVが明らかになったり、DVから子どもへの虐待が明らかになるなど、それぞれが密接に関係していることもあります。

市では期間中、児童虐待防止月間であることも踏まえ、同時にさまざまな啓発・支援活動を行います。

《人権啓発推進課》

◆男性・女性のための カウンセリング

【日時】11月10日・24日の水曜日、13時〜15時50分
【内容】人間関係や子育て、家庭内での暴力などの相談に女性問題カウンセラーが応じる。1人50分(31名に関連記事)
【定員】先着各3人
【その他】託児あり(要予約)
【申し込み方法】それぞれ2週間前から前日の12時までに電話で人権啓発推進課 ☎66・1022へ。

◆パープル&オレンジライトアップ

女性に対する暴力根絶の世界的なシンボルである「パープルリボン」と子ども虐待防止のシンボルである「オレンジリボン」にちなんで、赤れんがパークや田辺城門、五老スカイタワーをパープルとオレンジにライトアップ。
【日時】11月12日(金)〜25日(木)、17時〜20時



◆図書館に関連コーナーを設置

【期間】11月12日(金)〜25日(木)

務を担った。いかに人を動かし、実績を出すか。ここでもこれまで身に付けてきたコミュニケーション能力が生かされる。とにかくスタッフを見て状況を把握する。褒め、時に叱り、様子がおかしいと感じたら声をかける。スタッフ同士の感情の衝突も、しっかり話を聞き、事実を確認しながらどうすれば良くなるのかを一緒に考える。そこには、スタッフ個人もチームワークも大切にしたい姿勢がうかがえる。

その後、4店舗をマネジメントする統括部長に。「仕事はテレワークでできるが現場の空気を感じたい」と日々各店舗をまわり、店長たちとコミュニケーションを取る。

◆仕事への思いと自分の役割

社内の雰囲気は、ここ数年で変わってきている。いかに効率よく仕事をし、プライベートの時間を大切にできるか。今後は、次世代の管理職を担う人材の育成に力を入れていきたいという。「働き続けたいけど自身を取り巻く状況の変化で『もう無理かも』と悩んだときは、ぜひ相談してほしい。できない理由を考えるのではなく、どうすればできる

DV 相談先 男性も女性も相談できます ひとりで悩む前に、まずはご相談ください

機関	名称	電話	開設日など
舞鶴市	女性のための相談室	65・0056	月〜金曜日、9時〜16時(祝日・年末年始は休み)生活支援相談センター内、面接相談は要予約
	女性のためのカウンセリング(※)	予約は66・1022	第2水曜日13時〜15時50分、フレアス舞鶴にて1人50分、要予約(先着3人) 託児あり(要予約)
京都府	京都府家庭支援総合センター	075・531・9910	9時〜20時、緊急の場合は24時間対応
	京都府北部家庭支援センター	0773・22・9911	月〜金曜日、9時〜17時(祝日、年末年始は休み)
警察	舞鶴警察署	75・0110	常時、緊急時は「110番」

※女性のみ相談可

かを一緒に考えれば道は開けてくると思う。スタッフが働きやすい環境を整えるのが管理職の仕事。感謝の気持ちを忘れず向上心を持って仕事を続けてほしい」と仕事への厳しさと同時に、スタッフに向けた温かさが感じられる心強いメッセージをくれた。

現在は、介護が必要になった自身の母を京都市から呼び寄せ、夫と義母との4人暮らし。以前は夫とゴルフに出かけることも多かったが、コロナ禍で自宅でも過ごす時間が増えた。そこでも持ち前の新しいことを楽しむ性格で、ガーデンングに挑戦。仕事も家事も終えた夜、コーヒを飲みながらゆっくり自分時間を過ごし、また仕事に挑む。

株式会社 佐古田電機

代表取締役 佐古田 政彰さん

男性・女性は特に気にしておらず、実力であるべき職に就いてもらっています。働きやすい環境を整えることで社員にも経営にも良いことばかり。何が良いのか話を聞きながら考えていきたいです。